

国際石油開発帝石株式会社  
**2019年3月期第2四半期**  
**決算説明会**

2018年(平成30年)11月8日



- 事業活動報告
- 2019年3月期 第2四半期決算説明

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報(将来予想に関する情報を含む)を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

---

# 事業活動報告

---

代表取締役社長  
上田 隆之

# 2019年3月期第2四半期 決算説明会 ハイライト **INPEX**

決算・業績予想	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 2019年3月期 第2四半期決算<ul style="list-style-type: none"><li>● 連結売上高 4,382億円(前年同期比2.2%減)</li><li>● 親会社株主に帰属する純利益 340億円(前年同期比12.9%増)</li></ul></li><li>■ 2019年3月期 業績予想<ul style="list-style-type: none"><li>● 連結売上高 1兆10億円(予想)</li><li>● 親会社株主に帰属する純利益 600億円(予想)</li></ul></li></ul>
1株当たり配当金	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 2019年3月期<ul style="list-style-type: none"><li>● 第2四半期末:9円</li><li>● 期末(予想):15円(普通配当9円、記念配当6円)</li></ul></li></ul>
主要プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <u>イクシスLNGプロジェクト</u> 7月に生産井からのガス生産開始、 10月にコンデンセートの出荷開始に続き、LNGの出荷を開始</li><li>■ <u>アバディLNGプロジェクト</u> 10月に陸上LNGのPre-FEED作業が完了</li><li>■ <u>アブダビ油田プロジェクト</u> 4月に下部ザクム油田のアセットリーダーに任命</li><li>■ <u>国内天然ガス事業</u> 今期天然ガス販売量見通しは22.1億m<sup>3</sup></li></ul>
ネット生産量	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 2019年3月期第2四半期実績 日量約35.5万バレル(原油換算)</li></ul>

## 石油・天然ガス上流事業の持続的拡大

- アラブ首長国連邦アブダビ 下部ザクム油田のアセットリーダーへの任命(4月)
- オーストラリア イクシスLNGプロジェクト沖合生産・処理施設(CPF)における生産開始に向けた準備作業の完了(5月)
- オーストラリア イクシスLNGプロジェクト 生産開始(7月)
- カナダ ジョスリンオイルサンドプロジェクトの権益売却(9月)
- オーストラリア イクシスLNGプロジェクト コンデンセートの出荷開始(10月)
- オーストラリア イクシスLNGプロジェクト LNGの出荷開始(10月)

## グローバルガスバリューチェーンの構築

- イクシスLNGプロジェクトから直江津LNG基地へのLNG第一船入港(10月)

## 再生可能エネルギーの取り組みの強化

- インドネシア共和国 サルーラ地熱IPP事業 第3号機の商業運転開始(5月)
- 再生可能エネルギー・電力事業本部の新設(組織改編)(5月)

# イクシスLNGプロジェクト 概要

- 現況
  - 2018年7月に生産井からのガス生産を開始
  - 10月にはコンデンセート出荷に続き、LNGの出荷を開始
  - その後、10月中にLNG第1船は新潟県直江津LNG基地に入港
  - 11月中にLPGの出荷開始を予定
- 生産計画
  - プロジェクトライフ:約40年
  - LNG 年間約890万トン
  - LPG 年間約165万トン
  - コンデンセート 日量約10万バレル(ピーク時)
- 確認埋蔵量
  - 約9.3億 BOE(当社権益比率62.245%ベース)
- 複数の周辺鉱区保有、今後のポテンシャル期待
- マーケティング
  - LNG:年産840万トン分売買契約締結済
  - LPG:当社権益全量等の売買契約締結済



2018年10月22日 LNG出荷開始の様子

# イクシスLNGプロジェクトの軌跡

## ■ イクシス鉱区取得からの軌跡:1998年～2018年

1998 鉱区の取得

■ オペレーターとしてイクシス鉱区を取得

2000～2004 探鉱

■ 第1次・第2次掘削キャンペーンを通じ、  
ガス・コンデンセートの存在を確認

2007～2008 評価

■ イクシスの可採埋蔵量の評価を実施  
■ LNGプラントの建設地をダーウィンに決定

2009～2011 開発準備

■ FEED(基本設計)作業を開始  
■ LNGバイヤーとLNGの長期販売契約締結

2012 最終投資決定

■ 生産ライセンス取得  
■ プロジェクトファイナンス契約調印

2012～2018 開発

■ ダーウィン湾内の浚渫作業完了  
■ ガス輸送パイプライン敷設完了  
■ 海底フローライン敷設完了  
■ 製品出荷棧橋の完成  
■ 陸上LNGプラント全モジュールの搬入完了  
■ CPF・FPSOの出航・係留・接続完了

2018 生産・出荷開始

■ CPF・FPSO・陸上LNGプラントの試運転完了  
■ LNGの生産・出荷開始



2000年 第1次掘削キャンペーン



2008年 第3次掘削キャンペーン



2012年 最終投資決定(FID)



2013年 ダーウィン湾内の浚渫作業



2014年 ガス輸送パイプライン建設作業



2015年 海底生産システムの建設作業



2016年 FPSOの建設・組立作業



2017年 CPFの命名式

# イクシスLNGプロジェクト 生産開始後の状況

## ■ 生産ランプアップ

- 足元好調な立ち上がり
- LNG生産開始から2～3年程度でプラント一到達予定
- LNG生産開始後1年程度で60～70%を想定

## ■ LNGカーゴ数

- 3カーゴ(2018年11月初旬までの実績)
- ピーク生産時は年間120カーゴ程度を見込む

## ■ OPEX(操業費)

- ピーク時の生産コストは、当社全体の足元の生産コストと同程度の水準を見込む

## ■ 第2トレイン

- 11月中にLNGの生産開始見込み

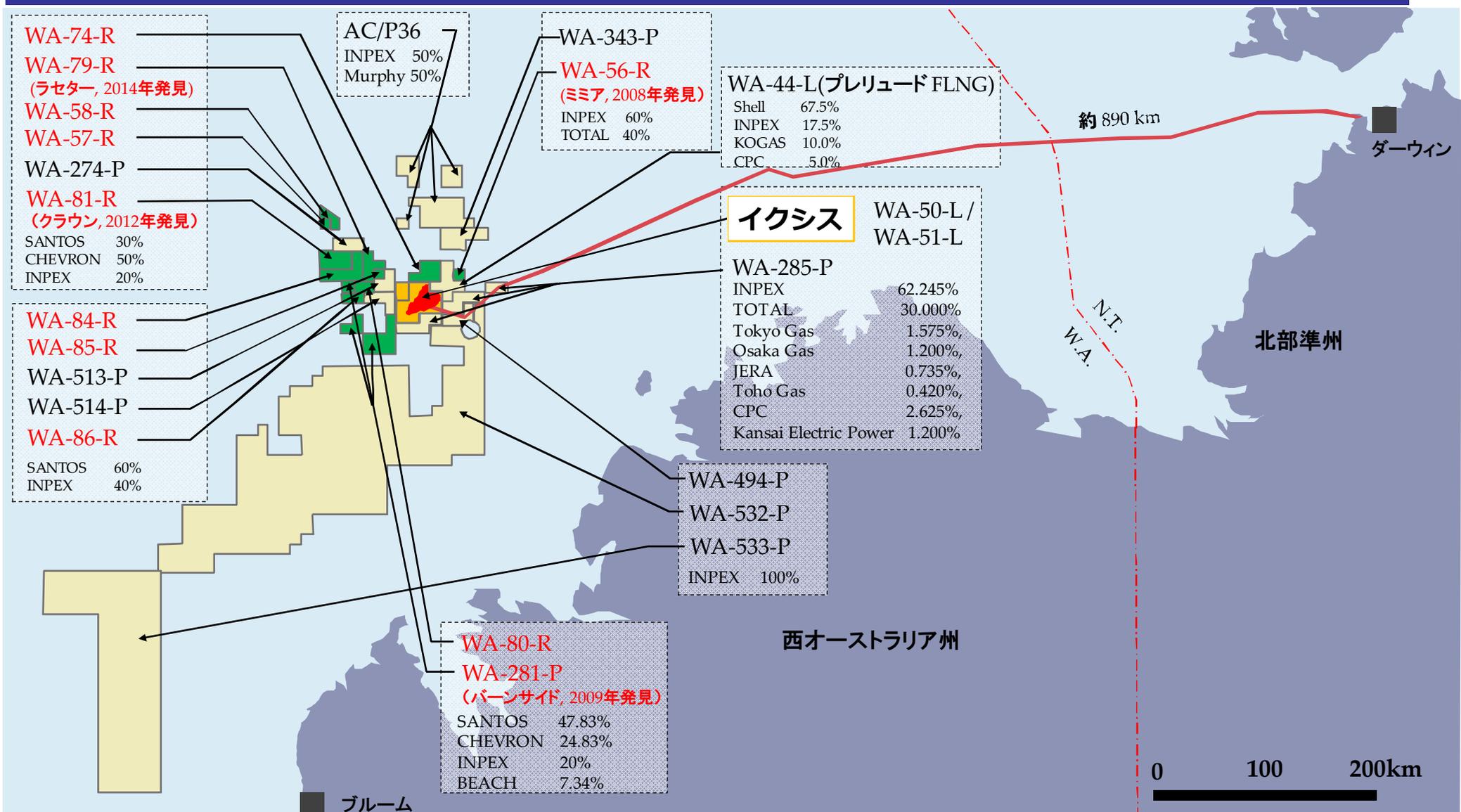
## ■ 生産井の掘削

- 16坑の掘削作業・仕上げ作業を完了



2018年10月31日 LNG第1船の直江津LNG基地入港の様子

# イクシスLNGプロジェクト 周辺探鉱鉦区



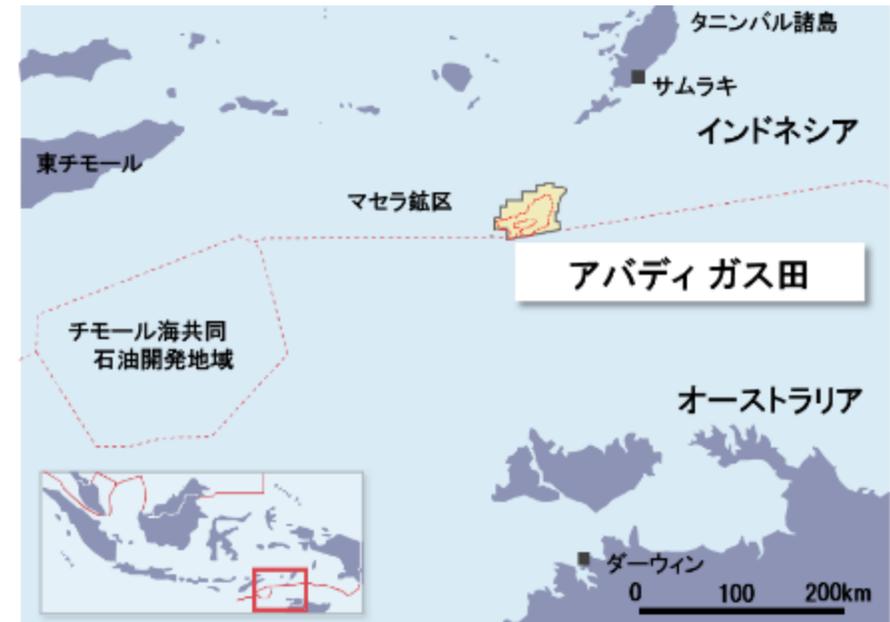
- イクシス周辺には20の探鉱鉦区を保有。これまでに、クラウン、ラセター、ミア、バーンサイド等のガス構造を発見し、これらのガス構造は少なくとも11鉦区に亘る
- 従前よりダーウィンに複数の追加トレインが建設可能な用地確保済

# アバディLNGプロジェクト

INPEX

## ■ 現況

- 2018年3月から10月に年産950万トン規模を想定する陸上LNGのPre-FEED（概念設計）作業を実施
- 現在、Pre-FEED作業の結果等を踏まえて、インドネシア政府に提出する改定開発計画を策定中
- 2020年代後半の生産開始を目指す
- イクシスで獲得した知見・経験を活かした効率的な開発を推進
- 2017年6月にインドネシア政府からNational Strategic Projectに、同年9月にはPriority Infrastructure Projectに認定



# 開発・生産プロジェクトの進捗

INPEX

## アブダビ油田プロジェクト

(生産中:アブダビ)



### ■ 現況

- 各油田の生産能力増強に向け開発作業が進行中

### ■ 各油田の目標生産能力(日量)

- 上部ザクム油田:約100万バレル
- 下部ザクム油田:約45万バレル
- サター油田:約2.5万バレル
- ウムアダルク油田:約2万バレル
- 陸上鉱区:約180万バレル

## カシャガン油田

(生産中:カザフスタン)



### ■ 現況

- 日量33万バレルの水準で生産中
- 日量37万バレル早期達成に向け作業中

### ■ 既発見未開発構造

- カラムカス構造・アクトテ構造・カイラン構造:評価作業を継続中

## プレリュードFLNGプロジェクト

(開発中:オーストラリア)



### ■ 現況

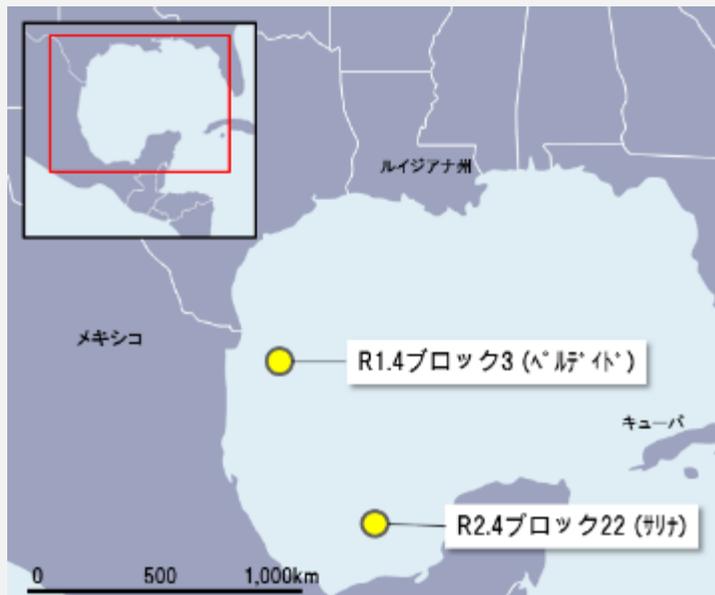
- 2018年6月、試運転用のLNGカーゴの受入れを完了
- 引き続き試運転を実施中

### ■ 生産量

- LNG:年間360万トン
- LPG:年間約40万トン(ピーク時)
- コンデンセート:日量約3.6万バレル(ピーク時)

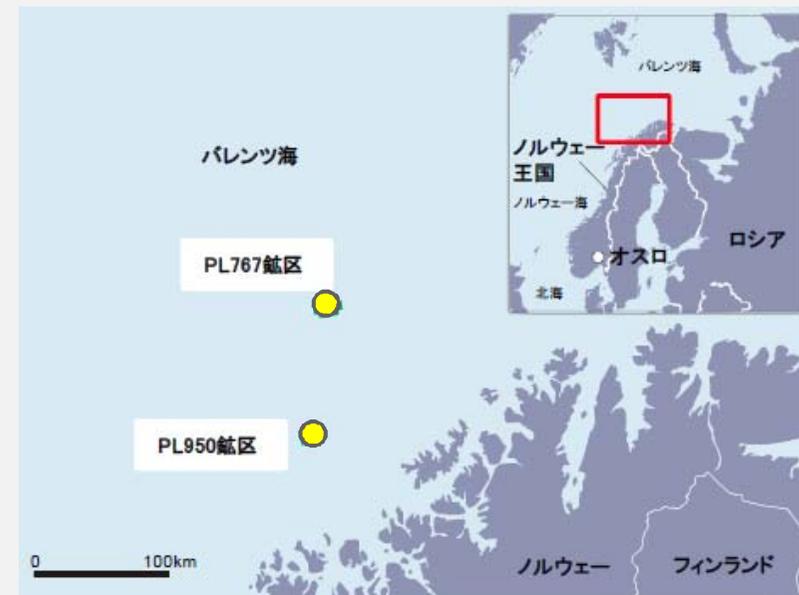
# 探鉱プロジェクトの進捗

メキシコ湾北部海域 R1.4 ブロック3 (ヘルデイト)  
メキシコ湾南部海域 R2.4 ブロック22 (サリナ)  
(探鉱中:メキシコ)



- R1.4 ブロック3 (ヘルデイト)
  - 2016年12月、Chevron社及びPemex社と共に鉱区落札
  - 当社権益:33.3333% (オペレーター:Chevron)
- R2.4 ブロック22 (サリナ)
  - 2018年1月、Chevron社及びPemex社と共に鉱区落札
  - 当社権益:35% (オペレーター:Chevron)
- 現況
  - 両鉱区とも石油契約を調印し、現在探鉱作業を実施中

バレンツ海西部PL767鉱区  
バレンツ海西部PL950鉱区  
(探鉱中:ノルウェー)



- PL767鉱区
  - 2017年11月、Bayerngas Norge社から鉱区取得
  - 当社権益:40% (オペレーター:Lundin Norway AS)
- PL950鉱区
  - 2018年1月、本鉱区を落札
  - 当社権益:30% (オペレーター:Lundin Norway AS)
- 現況
  - 現在、両鉱区において探鉱作業を実施中
  - PL767鉱区:2019年初旬をめどに試掘井1坑掘削予定

# 国内天然ガス事業及び 再生可能エネルギーへの取り組み

INPEX

## 国内天然ガス事業



- 天然ガス販売
  - 2018年3月期販売量:21.2億m<sup>3</sup>\*
  - 2019年3月上半期販売量:9.7億m<sup>3</sup>\*
  - 2019年3月期販売量見通し:22.1億m<sup>3</sup>\*
- 直江津LNG基地
  - 本年10月にイクシスLNGプロジェクトの第1船が入船

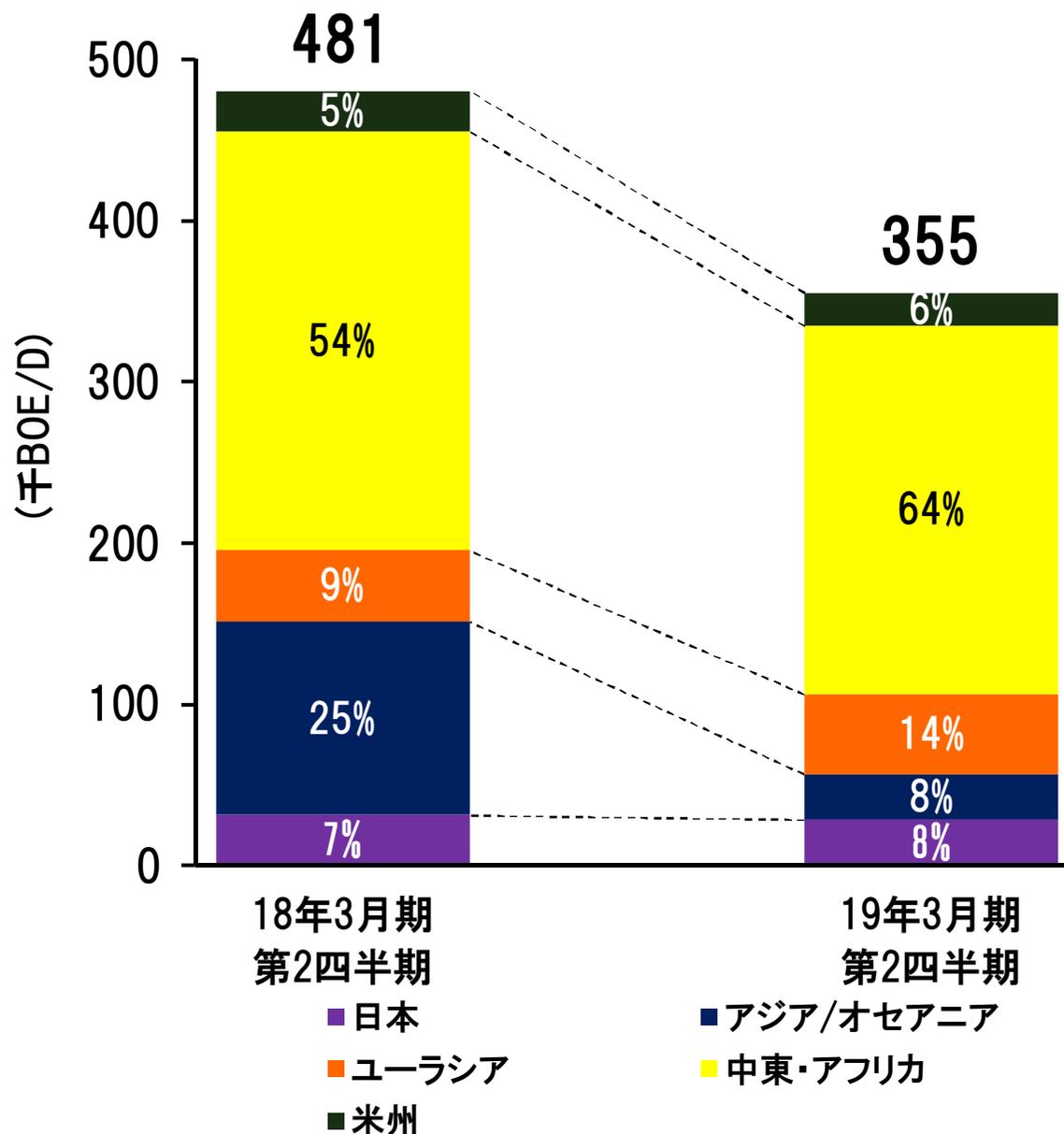
\* 1m<sup>3</sup>当たり41.8605MJ換算

## 再生可能エネルギー事業



- 本年6月に再生可能エネルギー・電力事業本部を新設
- インドネシア サルーラ地熱IPP事業
  - 本年5月から総出力約 330MWで商業運転中
- 国内地熱事業
  - 秋田県小安で試験井2本掘削、噴気試験実施

# 2019年3月期 第2四半期 ネット生産量\*



**主な増加要因**

- カシャガン油田の生産ランプアップ
- イクシスの生産開始

**主な減少要因**

- アタカおよびマハカム沖鉦区PSC終結

\* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。

---

**2019年3月期 第2四半期 決算説明**

---

**取締役**

**専務執行役員**

**財務・経理本部長 村山昌博**

# 2019年3月期第2四半期 決算ハイライト

	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	4,479	4,382	△ 97	△ 2.2%
原油売上高	3,309	3,729	420	12.7%
天然ガス売上高(LPG含む)	1,108	579	△ 528	△ 47.7%
その他	61	72	10	17.7%
営業利益 (億円)	1,858	2,264	406	21.9%
経常利益 (億円)	1,954	2,469	515	26.4%
親会社株主に帰属する 純利益 (億円)	301	340	38	12.9%
1株当たり純利益 (円)	20.65	23.31	2.66	12.9%

期中平均株式数(連結)2019年3月期第2四半期 1,460,312,157株

期中平均油価(Brent) (\$/bbl)	51.49	75.40	23.91	46.4%
期中平均為替 (¥/\$)	111.05	110.26	0円79銭円高	0.7%円高

# 原油売上高

	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	3,309	3,729	420	12.7%

販売量 (千bbl)	57,530	46,462	△ 11,068	△ 19.2%
海外平均単価 (\$/bbl)	51.25	73.16	21.91	42.8%
国内平均単価 (¥/kl)	37,780	54,443	16,663	44.1%
平均為替 (¥/\$)	111.44	109.66	1円78銭円高	1.6%円高

地域別販売量 (千bbl)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	増減率
日本	470 (74.8千kl)	386 (61.4千kl)	△ 84 (△13.4千kl)	△ 17.9%
アジア・オセアニア	4,160	1,033	△ 3,127	△ 75.2%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	5,981	7,124	1,143	19.1%
中東・アフリカ	45,979	37,353	△ 8,626	△ 18.8%
米州	940	566	△ 374	△ 39.8%
合計	57,530	46,462	△ 11,068	△ 19.2%

# 天然ガス売上高(LPG除く)



	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	増減率
売上高(億円)	1,083	575	△ 507	△ 46.8%

販売量(百万cf)	151,351	69,026	△ 82,325	△ 54.4%
海外生産分平均単価(\$/千cf)	5.14	2.67	△ 2.47	△ 48.1%
国内分平均単価(¥/m <sup>3</sup> )	45.64	49.85	4.21	9.2%
平均為替(¥/\$)	110.71	106.84	3円87銭円高	3.5%円高

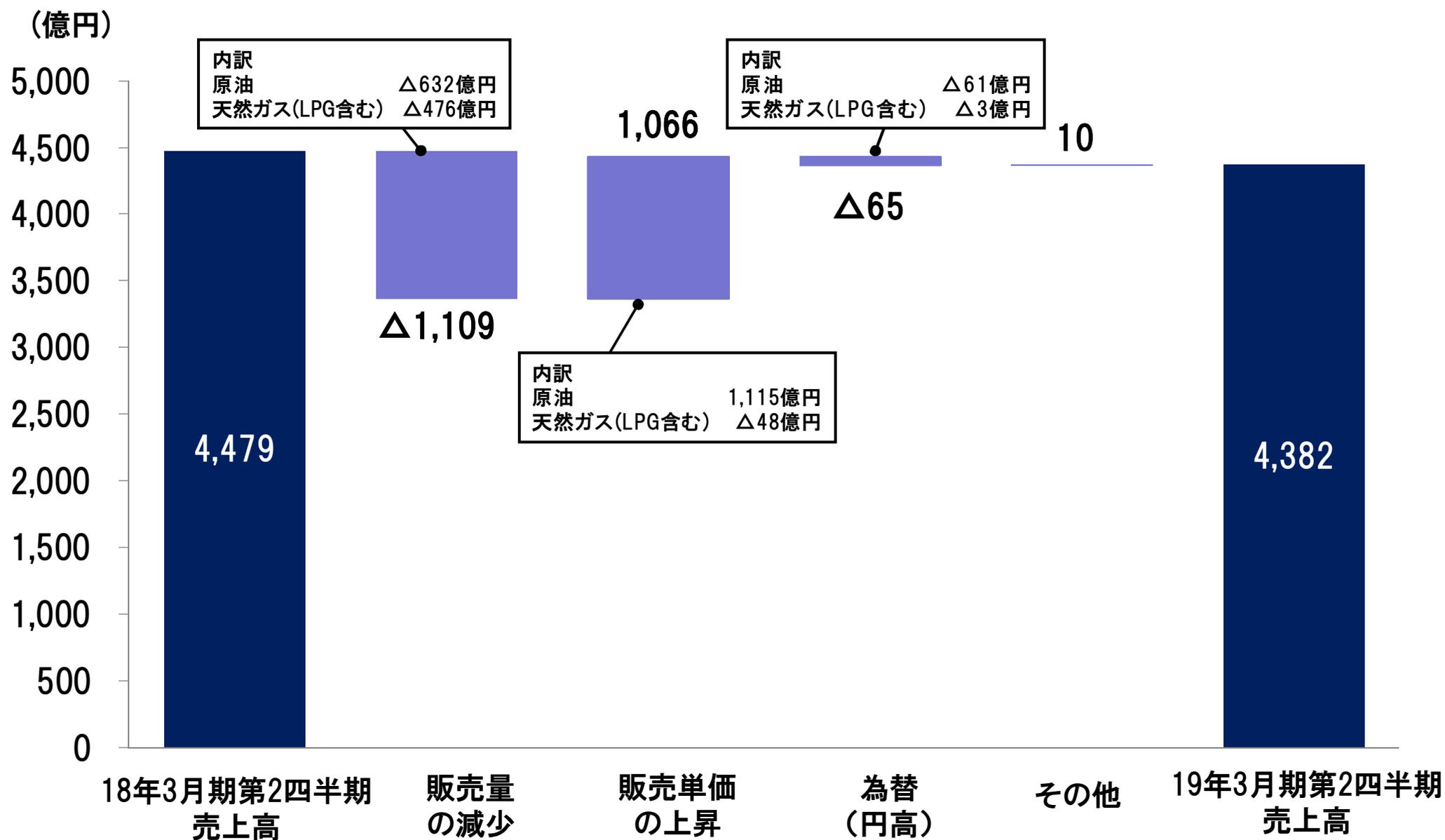
地域別販売量(百万cf)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	増減率
日本	34,005 (911百万m <sup>3</sup> *)	36,055 (966百万m <sup>3</sup> *)	2,050 (+55百万m <sup>3</sup> *)	6.0%
アジア・オセアニア	92,664	10,147	△ 82,517	△ 89.0%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	3,724	4,869	1,145	30.7%
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	20,957	17,955	△ 3,002	△ 14.3%
合計	151,351	69,026	△ 82,325	△ 54.4%

※ LPGの売上高は以下の通り。

	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	増減率
売上高(億円)	25	4	△ 21	△ 83.6%

\*1m<sup>3</sup>当たり41.8605MJ

# 2019年3月期第2四半期 売上高 増減要因分析 INPEX



# 損益計算書

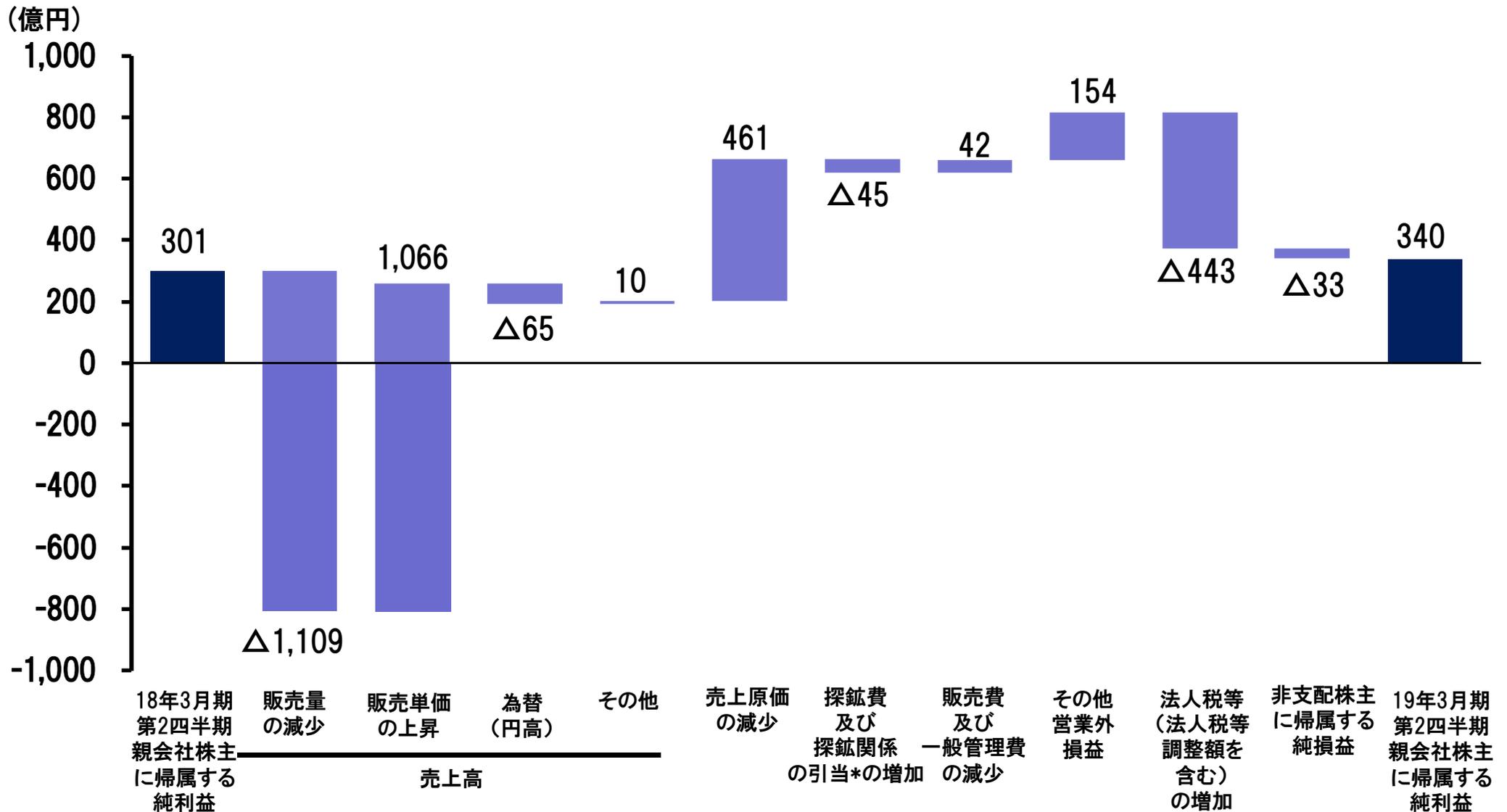
(億円)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	増減率	
売上高	4,479	4,382	△ 97	△ 2.2%	販売量の減少 △1,109 販売単価の上昇 +1,066 為替(円高) △65 その他 10
売上原価	2,221	1,760	△ 461	△ 20.8%	原油売上原価: 1,370 (増減) △198 天然ガス売上原価(注): 341 (増減) △262 (注)LPGを含む。
売上総利益	2,257	2,621	364	16.1%	
探鉱費	9	10	0	6.7%	
販売費及び一般管理費	389	347	△ 42	△ 10.9%	
営業利益	1,858	2,264	406	21.9%	主な要因 持分法投資利益 (増減+84) 受取補償金 (増減+74)
営業外収益	156	336	179	114.7%	
営業外費用	60	130	69	115.4%	主な要因 支払利息 (増減+15) 生産物回収勘定引当金繰入額 (増減+16)
経常利益	1,954	2,469	515	26.4%	
法人税等合計	1,615	2,059	443	27.4%	
非支配株主に帰属する純損益	36	70	33	91.3%	
親会社株主に帰属する純利益	301	340	38	12.9%	

# 営業外収益・費用

**INPEX**

(億円)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	増減率	
<b>営業外収益</b>	156	336	179	114.7%	
受取利息	40	41	0	1.4%	
受取配当金	20	14	△ 6	△ 31.3%	
持分法による投資利益	21	105	84	400.6%	持分法適用関連会社の増益
生産物回収勘定引当金戻入益	27	-	△ 27	△ 100.0%	
為替差益	0	52	52	-	
受取補償金	-	74	74	-	エクアドル共和国 ブロック18鉱区返還に伴う補償金
その他	45	47	1	3.8%	
<b>営業外費用</b>	60	130	69	115.4%	
支払利息	32	47	15	49.8%	
生産物回収勘定引当金繰入額	-	16	16	-	
その他	28	65	37	129.6%	

# 2019年3月期第2四半期 純利益 増減要因分析 *INPEX*



\*生産物回収勘定引当金繰入額(戻入益)

# 貸借対照表

**INPEX**

(億円)	18年3月期末	19年3月期 第2四半期末	増減	増減率
流動資産	4,663	6,460	1,797	38.5%
有形固定資産	20,446	22,075	1,629	8.0%
無形固定資産	5,415	5,240	△ 174	△ 3.2%
生産物回収勘定	5,890	5,853	△ 37	△ 0.6%
その他	6,924	9,143	2,219	32.0%
生産物回収勘定引当金	△ 816	△ 833	△ 17	2.1%
<b>資産合計</b>	<b>42,523</b>	<b>47,940</b>	<b>5,416</b>	<b>12.7%</b>
流動負債	3,054	4,612	1,558	51.0%
固定負債	7,880	10,599	2,718	34.5%
純資産	31,588	32,728	1,139	3.6%
(うち非支配株主持分)	2,421	2,457	35	1.5%
<b>負債・純資産合計</b>	<b>42,523</b>	<b>47,940</b>	<b>5,416</b>	<b>12.7%</b>
1株当たり純資産額 (円)	1,997.24	2,073.09	75.85	3.8%

イクシス下流事業会社(持分法適用)の  
要約財務情報(100%ベース、内当社株  
式比率は62.245%)

・流動資産	413億円
・固定資産	3兆9,114億円
・総資産	3兆9,528億円

※固定資産にはFID前投資、借入金の支  
払利息分等が含まれる

株主資本合計	+207億円
その他の包括利益累計額	+897億円
・その他有価証券評価差額金	+61億円
・繰延ヘッジ損益	+104億円
・為替換算調整勘定	+731億円

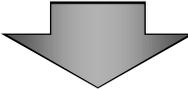
# キャッシュ・フロー

(億円)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	増減率
税金等調整前当期純利益	1,954	2,469	515	26.4%
減価償却費	454	417	△ 37	△ 8.2%
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	349	100	△ 249	△ 71.4%
生産物回収勘定(非資本支出)の減少額	12	98	85	695.0%
法人税等の支払額	△ 1,437	△ 1,698	△ 261	18.2%
その他	78	△ 278	△ 356	-
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,411</b>	<b>1,108</b>	<b>△ 303</b>	<b>△ 21.5%</b>
定期預金の預入による支出/払戻による収入	734	△ 1,598	△ 2,333	-
有形固定資産の取得による支出	△ 1,392	△ 1,169	222	△ 16.0%
投資有価証券の取得による支出	△ 1,263	△ 14	1,248	△ 98.9%
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△ 136	△ 153	△ 16	12.5%
長期貸付けによる支出/回収による収入	△ 234	△ 1,824	△ 1,590	679.5%
その他	7	182	175	-
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 2,283</b>	<b>△ 4,577</b>	<b>△ 2,294</b>	<b>100.5%</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>423</b>	<b>3,251</b>	<b>2,828</b>	<b>667.3%</b>
現金及び現金同等物の期末残高	2,708	2,610	△ 97	△ 3.6%

# 2019年3月期 第2四半期 業績予想値と実績値との差異

**INPEX**

## ◆前提条件

(2018年8月9日)	第2四半期連結累計期間 (前回発表予想)
Brent 油価(\$/bbl)	72.5
為替レート(円/US\$)	109.6
	
(2018年11月7日)	第2四半期連結累計期間 (実績)
Brent 油価(\$/bbl)	75.4
為替レート(円/US\$)	110.3

## ◆ 第2四半期連結累計期間 業績予想値と実績値との差異(2018年4月～9月)

	前回発表予想 (2018年8月9日)	実績値	増減	増減率
売上高 (億円)	4,190	4,382	192	4.6%
営業利益 (億円)	2,110	2,264	154	7.3%
経常利益 (億円)	2,220	2,469	249	11.3%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	250	340	90	36.1%

# 2019年3月期 連結業績予想の修正



## ◆前提条件

(2018年8月9日)	上期	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	72.5	70.0	71.2
為替レート(円/US\$)	109.6	110.0	109.8



(2018年11月7日)	上期	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	75.4 ※1	70.0	72.7
為替レート(円/US\$)	110.3 ※2	110.0	110.1

※1 第1四半期実績\$75.0/bbl、及び第2四半期実績\$75.8/bblによる。 ※2 第1四半期実績109.1円/\$、及び第2四半期実績111.4円/\$による。

## ◆連結通期業績予想(2018年4月～2019年3月)

	前回予想 2018年8月9日	今回予想 2018年11月7日	増減	増減率
売上高 (億円)	9,450	10,010	560	5.9%
営業利益 (億円)	4,600	4,760	160	3.5%
経常利益 (億円)	4,630	4,870	240	5.2%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	480	600	120	25.0%

## ◆1株当たり配当金

	第2四半期末	期末(予想)
2019年3月期 (円)	9	15 (普通配当9、記念配当6)